



発行責任者
特定非営利活動法人
相模原市障害児者福祉団体連絡協議会
(通称：NPO法人れんきょう)

会長 鈴木 秀美
相模原市中央区富士見6-1-20 (あじさい会館内)

T E L & F A X 042-755-5282 (直通)

題字「わ」 相模原市長 本村 賢太郎

さーくる 障害理解

検索

《鈴木れんきょう会長年頭挨拶》

「れんきょう」加盟団体会員の皆様、新年おめでとうございます。本年が皆様にとって良い年となりますように願っております。

昨年も新型コロナウイルスにより、多人数による会食や旅行の自粛等社会生活も大きな制限を受けました。我々の活動もコロナ禍の下で制限を受けざるを得ませんでした。実際に集まってくるの会合が開催できずに、講演会、研修会はもちろんのこと、より少人数の会合も開催できないこともありました。

最近ワクチン接種の普及による効果が表れ、社会生活上の制限も緩和されていますが、感染の第8波の到来も予想されます。マスク着用、手指の消毒、換気、ソーシャルディスタンスを保つ等の基本的な対策を継続する必要があります。

この鎮静化した状態が続き、以前のように会の活動が復活できるようになることを願います。

昨年の11月から12月にかけて開催されたサッカーのワールドカップカタール大会では日本チームが強豪のドイツ、スペインを破る金星を挙げ大いに盛り上がりました。パブリックビューイングやスポーツバーで観戦した方々も多く、コロナ禍でも基本的な感染対策を実施すれば、ある程度の集団形成も可能であることを示してくれました。

今後のれんきょうの活動として新成人を祝う会や研修会、福祉施策懇談会の開催等が予定されています。その節には、感染対策に留意しながら会員皆様の積極的な参加を期待しております。

《市長を迎えての

令和4年度福祉施策懇談会は予定通り開催！！》

- ・日時 令和5年1月14日(土) 10時～12時
- ・場所 あじさい会館 6階 第1、2展示室
- ・出席者 ① 市側
本村市長、隠田副市長、河崎健康福祉局長以下関係部課長
- ② 障がい児者福祉団体側
15団体26名(1月1日現在)
- ・懇談テーマ 市行政への提案・要望
既に実施した福祉施策等に関するアンケートにおける市行政への提案・要望に対する市の見解・回答は近日中にお送りします。

《令和4年度障害者週間つどい》

本年度の「障害者週間のつどい」は「心の輪を広げる体験作文・障害者週間のポスター入賞者表彰式」として12月4日にあじさい会館ホールで開催されました。従来は表彰式の後に音楽やダンス等のイベントが実施されていましたが、今回は新型コロナウイルスの感染防止の観点から表彰式のみで開催となりました。

本年度の受賞者は体験作文の部で7名、ポスターの部で5名となりました。受賞された方々は本村市長から表彰状と副賞を受け取り誇らしげな様子をご家族の皆様も喜んで見ておられました。

最後に受賞者の皆様に本村市長、渡邊教育長、れんきょう会長が加わったメンバーによる記念撮影が行われ表彰式は無事に終了しました。



《ほかほかふれあいフェスタ》

本年度秋のほかほかふれあいフェスタは10月15日に開催されました。

あじさい会館6階のボランティア活動室では、車椅子体験、要約筆記サークルの活動紹介、パラスポーツの写真展示等が実施されました。

1階ホールでは、チアリーディング、手話ダンス、ヒップホップダンスが披露され好評でした。

ロビーでは特別支援学校の生徒たちの作製した種々の作品が展示されました。

ウェルネスさがみはら前広場ではバンド演奏、車いすダンス、阿波踊り、よさこいソーラン、大道芸のパフォーマンスに見物客からは大きな声援が送られていました。

また、テントの中ではバザーでの衣料品等の販売や手工芸品、クッキーの販売も行われました。子ども達はミニ新幹線に乗って大喜びでした。

れんきょうはテント内に加盟団体のパネルを展示、種々のパンフレットを配布しました。

今回のほかほかふれあいフェスタは新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている中ではありましたが、感染対策には充分配慮して開催されましたので式典は実施せず、館内の公共スペースや広場での食事は禁止となりました。

冬のほかほかふれあいフェスタは『障害者週間キャンペーン』として11月26日に開催予定でしたが、当日雨天のために残念ながら開催中止となりました。

《NPO 法人れんきょう定期総会開催通知》

令和5年度定期総会を下記の要領にて開催いたします。

日 時： 令和5年6月25日（日） 10時～12時

会 場： あじさい会館 6階 第1、2展示室

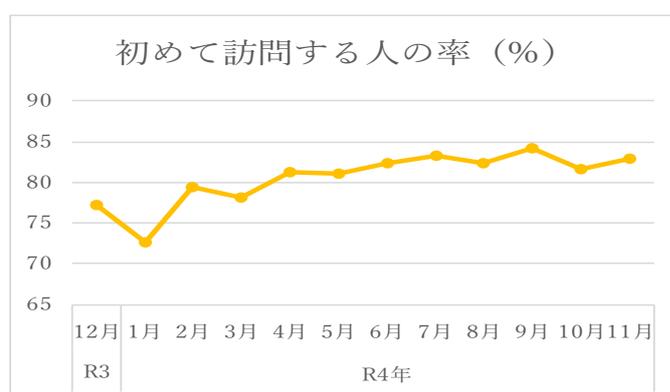
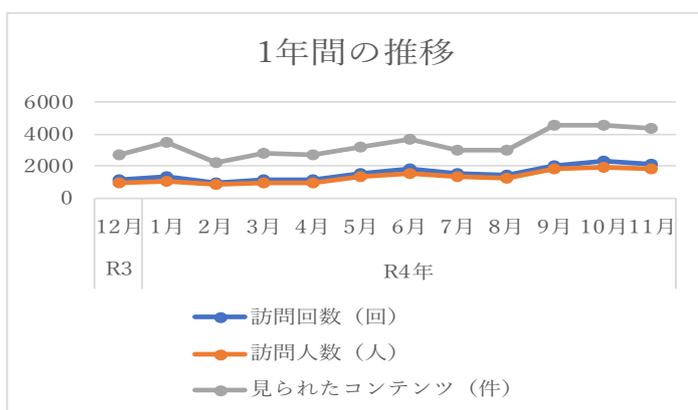
《恒例の障がい者間交流イベント

2022年度新春ボウリング大会中止のお知らせ》

令和5年2月18日に開催を計画していました恒例の新春ボウリング大会は誠に残念ですが新型コロナウイルス感染防止の為に中止となりました。

《「さーくる」アクセス状況報告》

	R4 6月	7月	8月	9月	10月	11月
訪問回数（回）	1810	1596	1498	2071	2356	2167
訪問人数（人）	1549	1402	1287	1806	1926	1882
見られたコンテンツ（件）	3727	3003	2978	4578	4574	4341



さーくる 障害理解 **検索**

クローバー会の紹介

相模原市聴覚障害者協会

木村 健

新型コロナウイルスの感染拡大で相模原市聴覚障害者協会の活動も思うようにできず、ほとんどの行事が中止になっていますが、活動を続けているものもあるので、その一つを紹介します。

それは、相模原市難聴者協会・土の会と相模原市登録要約筆記者の会、相模原市登録手話通訳者の会と一緒に活動している「クローバーの会」です。

クローバーの会では、聴覚障害についての理解や聴覚障害者とのコミュニケーション方法を広げることを目的に活動しています。

私たち聴覚障害者は耳が聞こえないために情報を得ることがむずかしく、まわりの人とのコミュニケーションも困難で、生活のさまざまな場面で支障がありますが、特に災害時には命に関わることもあります。

そのために、4年前から災害時対応に関する学習会を開いたり、市総合防災訓練の防災フェアに参加することを始めました。

昨年10月には防災マイスターの皆さんにご協力いただき、手話サークルの人たちと一緒に災害図上訓練(DIG)を行いました。

災害図上訓練(DIG)は、自分たちが住んでいる地域の地図を見ながら危険な所を確認したり避難所へのルートを探ったり、災害に備えて用意するものなどを話し合ったりするのですが、参加者にとっても好評でした。ただ、聴こえる人と一緒に参加して、手話通訳者や要約筆記者を介してやりとりするのは、聴覚障害者にはやりにくい面もあったので、今年1月末には、聴覚障害者を対象にした災害図上訓練(DIG)を開く予定です。

聴覚障害者にわかりやすい方法はどんな方法か、聴覚障害当事者団体ならではの意見を出して、防災マイスターのお知恵を借りながら、工夫して準備をしているところです。

これを読んでいただく頃には終わっていますので、どのような様子だったかは、機会があればまた報告させていただきます。

《「さがみハート展」への想い》

あしたば会 藤枝 真之

今年も11月24日(木)～28日(月)までJR相模原駅ビル4階の相模原市民ギャラリーにて、第14回「さがみハート展」が開催され、大盛況のうちに終えることが出来ました。

私個人的には今回、4回目の詩の応募になりました。

自分の書いた詩が、そのまま画家さんの手で、絵になるという事は、とても画期的な事だと思います。自分が出展した時は、毎回どんな絵になるのか、ワクワクしながら詩画展に参加させて頂いております。

今回も、地元の中学生在が書かれた絵もあり、まさに地元で根ざした活動だと感じました。また、そういった若い世代の精神障がい者への理解が進んでいっている気がして嬉しかったのを覚えています。こういった活動を通して、本当の意味での“綺麗事ではない精神障がい者の現実”を知って頂き、同時に”我々精神障がい者も社会や家庭に対して少しでも歩み寄る”姿勢が大切なんじゃないかなあとも感じました。勿論、そうとは言えない現実や体調、心の状態もあります。また、そういった辛い現状があるのは重々承知の上ですが、支援者の方々に対して“やってもらって当たり前”になってしまってもダメだなとも思いました。双方が歩み寄る姿勢を持つ事は勿論ですし、そういった支援者と精神障がい者の双方の意識が合致することも重要だとも思いました。

ですが、まだまだこの世の中は本当の意味での“ノーマライゼーションの実現”とは言えないかもしれません。海外と比べると、精神障がい者への理解が進んでいるとは言えませんが、こうした展示会を通して少しでも当事者の想いや悩み、葛藤などを理解して頂き、雇用面でも家庭内でも社会的にも健常者と障がい者の垣根がなくなり、本当の意味での”共生社会”の実現に近づいてくれればと願っております。

末筆にはなりますが、新型コロナウイルスの第8波の猛威がありながらも、今回も「さがみハート展」のような素晴らしい展示会を開催して下さった主催者や、後援して下さった皆様、絵画と詩を提供して下さった皆様には感謝の想いでいっぱいです！重ね重ね深い感謝の意を込めて締めくくりたいと思います。

皆様、本当にお疲れ様でした。

また、本当にありがとうございました。

今回、私が出展した詩と、それに画家さんがつけて下さった絵です！

心

Mr.fuji

心に巻いた包帯はいつまでも
ほどけずにいた10代の僕

心に巻いた包帯をそのままにして
痛みを感じながらもがいてた20代
の僕

心に巻いた包帯と鎖が
ほどけてきた30代の僕

いつだってそばにいた君は
もう一人の僕だった

その君に出逢えた時

新しい僕に出逢えたよ



伊藤丈司さんおめでとう第37回障害者による 書道・写真全国コンテスト書道部門で見事銀賞受賞 橋本障害者地域支援センターふらすかわせみ

表題コンテストに相模原市から今年度書道7点応募いたしました。全国からは1,079点（書道部門848点、写真231点）の作品が集まり、伊藤丈司さんが見事銀賞を受賞されました。

今年度書道848点の内金賞が10点、銀賞が25点、銅賞が25点でした。



《相模原市障害者作品展》

障害者週間中の障害者作品展を12月2日（金）～4日（日）あじさい会館6階展示室で、開催することができました。今年の作品展は作品数の確保を一番心配したのですが、昨年と変わらず、多くの作品を相身連3団体、れんきょう加盟の、市内の障がい関係11団体の作品を出品していただき、午前中に各団体の展示場所に作品を展示する事ができました。



コロナ影響がある中で午後から見学者がきてくれるのか心配したのですが、昨年通りの見学者数を見ることができました。3日（土）午前中に本村賢太郎市長、他にも見学に来ていただき、午後に寺田弘子市議会議員、4日（日）午前中に渡邊志寿代教育長、三日間で県議会議員、市会議員、市職員の方々にご観覧していただきました。3日間開催中、多く市民の方々にもご来場していただき盛会のうちに終了することができました。お力添えいただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

《やまびこ会作品展報告》

やまびこ会の作品展が令和4年11月25日（金）～27日（日）の3日間、小田急相模原駅のラクアルオダサガの4階おださがプラザで開催されました。

会場には絵画、写真、習字、編み物等種々の作品や自閉症理解のためのパネルが展示されました。

本村市長もお見えになり、作品の出展者と熱心に話されていました。

また、12月25日～令和5年1月25日にはWeb配信も実施されます。やまびこ会のホームページからご覧いただけます。



《「れんきょう」研修会が3年ぶりに開催されます！》

あしたば会 榛澤昌高

新型コロナ感染拡大のため開催できなかった、れんきょう研修会を3年ぶりに開催することになりました！

今回は、「れんきょう」加盟団体である「あしたば会」と「みどり会」が担当になり、座間市で精神障がい者や引きこもりの方へのアウトリーチ（訪問支援）を行い、大きな成果をあげておられる精神保健福祉士の池田陽子さんを講師としてお迎えいたします。

「8050問題」。80代の親が自宅に引きこもる50代の子供の生活を支えているが、現状に行き詰まり“親子共倒れ”になったり、親が亡くなった後、子供の生活が成り立たなくなり死に至るケースなどの悲劇が起こっています。一筋縄ではいかない引きこもりという社会問題ですが、池田さんのお話から解決のヒントにでもなればと思います、この研修会を企画いたしました。

池田さんは、長年、精神保健福祉士として、精神障がい者や引きこもり当事者へ寄り添う支援をされてきました。今座間市での試みとして、市職員と二人三脚でアウトリーチ（訪問支援）を行い、引きこもりなどで社会的に孤立する方への支援に精力的に取り組んでおられます。

今回池田さんには、当事者が地域で“自分らしく生活するため”というテーマで、お話しいただきます。今は通所施設、グループホーム、相談窓口などフォーマルな社会資源は増えましたが、必ずしも当事者の地域生活を十分に支えるものになっていないわけではありません。池田さんは、近所のおばちゃんやお店の店員さんなどのインフォーマルな社会資源も当事者の力になるとおっしゃいます。当事者が“自分らしく生活するため”に必要な社会資源とは何か？当事者の“生きづらさ”を軽減するために必要なものは何か？病名や引きこもりという形態よりも、当事者本人が本当に困っていることは何か？に焦点をあてて、皆さんと一緒に考えたいと思います。質疑応答や会場の皆さんの意見をうかがう時間もございますので、是非、会場に足を運び、積極的にご発言下さい。

《事務局たより》

《令和4年度 れんきょう研修会》

場 所： 相模原市民会館3階 第1大会議室

日 時： 令和5年3月12日（日）13:30～16:00（13:00開場）

テーマ：「今、何に困ってる？ 自分らしく生活するために」

講 師： 池田 陽子氏

（神奈川県精神保健福祉士協会前会長 座間市「相談オフィスわーくすけあ」管理者）

《令和4年度冬季受託事業販売協力依頼》

今年度もご協力をお願いいたします。

- ① チャンポン・皿うどん詰合せN-1（化粧箱入り）は12月10日で販売終了いたしました。
- ② 島原のれん（VS-45）（化粧箱入り） ￥3,000円
- ③ 全粒粉そーめん（化粧箱入り） ￥2,500円

※販売期間：令和4年11月1日～令和5年1年1月31日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前10:00～午後4:00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話042-755-5282

《新車紹介セールご協力のお願い》

～（株）クライム社様より新車購入紹介セールのお知らせ～

対象車種：乗用車、ライトバン、RV、トラック

対象メーカー：日産、ホンダ、マツダ、三菱、ダイハツ

新車購入の成約前に必ずNPO法人れんきょう事務所まで連絡をお願いいたします。

❖ご協力いただいた方には、協力手数料をお支払いいたします。

詳細はNPO法人れんきょう事務所まで（042-755-5282）

（株）クライム エヌシーデー様よりご芳志をいただきました。ありがとうございました。